

## サギソウ（ラン科）

～湿原の女王 湿原を舞う鷺草～

日当たりのよい湿原では、シラサギが羽を広げたような形をした白い花の塊があちこちに見られる。近づいてみるとサギソウの花である。高さ20～25cmくらいに伸びた細い花茎の先に、白色の経3cmくらいの白い花を2～3個くらい着けている。下を向いた唇弁は大きく3つに分かれ、さらにその両端は細かく裂けて、まさに白鷺（シラサギ）が羽を広げて、飛び立とうとしている姿を連想させる。その純白の花は、湿原の女王とも言われ、十数株から百株位の群落が、湿原一面に群生している様は見事なものである。

花の時期は7月の終わりころから8月の中旬くらいまでである。花もち短く、一つの花でせいぜい4～5日くらい咲いている。この時期には、多くの観光客が訪れ、その美しさに魅了され、花の頃になると再度訪れる人が多いようである。

サギソウは、本州、四国に広く分布し、佐賀県では七山から杉山、大串、九千部などで自生している。その花の美しさと栽培がわりに容易なために、県内の自生地だけではなく、全国でも、山間部や谷間の自生地では、土地の開発や栽培愛好者などによって乱獲され、絶滅の危機に陥っている。そのため国の環境省では絶滅危惧種Ⅱ類、佐賀県でも絶滅危惧種Ⅱ類に指定してその保護に当たっている。

このサギソウが生育する檜原湿原（かしばるしつげん）は、唐津市七山池原字檜原の海拔591mの所にある。この湿原は、九州有数の湿原動植物の宝庫であり、昭和51年3月に「特に優れた自然を有する地域」として「佐賀県自然環境保全地域」に指定され、また、平成13年12月には「日本の重要湿地500」に指定された。

サギソウを始め多くの貴重な動植物が生息するこの湿原を守るためには、湿原全体の保全が必要である。

分野 自然

地域 七山

◎地図・写真・統計資料など



（川浪誠氏より）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆『九州の花図鑑』 益村聖
- ◆『佐賀の自然と植物』 佐賀植物友の会
- ◆『檜原湿原』 環境省
- ◆九州地方環境事務所（パンフレット）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)